

年間授業計画

高等学校令和4年度(1学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

教科: 芸術 科目: 書道 I 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 1学年 1組~ 6組  
 教科担当者: 石井さやか  
 使用教科書: ( 書道I 教育出版 書1 701 )  
 科目の目標

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】				
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。		書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。				主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		漢	漢	仮						
1 学期	単元「楷書の学習 (唐の四大家の書)」 【知識及び技能】書体の変遷や唐の四大家の概要などを理解し、古典の学習方法を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】古典の特徴や書法を理解し、その表現方法を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】書の文化や表現技術の向上に積極的に取り組むことができる。	中学までの「書写」の復習/古典の学び方/姿勢・執筆/用具用材について/書体の変遷/さまざまな楷書/九成宮醜泉銘/孔子廟堂碑/雁塔聖教序/顔氏家廟碑 等の臨書、鑑賞口		○		○	○	○	○	8
	単元「楷書の学習 (北魏の書)」 【知識及び技能】作品の概要を理解し、題材を通して用筆や運筆などの技法を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】特徴や書法を理解し、その表現方法を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】書の伝統や表現技術の向上に積極的に取り組むことができる。	牛橛造像記/鄭義下碑 等の臨書、鑑賞		○		○	○	○	○	9
	単元「行書の学習 (王羲之と顔真卿の行書)」 【知識及び技能】行書の成立について理解し、行書の基本的な技術を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞と臨書をとおして行書の基本的な表現技法を理解し、工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】芸術、実用の両方で広く用いられていることを理解し、技術の向上を積極的に取り組むことができる。	さまざまな行書/行書の特徴/蘭亭序/祭姪稿 等の臨書、鑑賞		○		○	○	○	○	9
2 学期	単元「行書の学習 (日本の行書)」 【知識及び技能】平安初期の書が当時の中国の影響を受けていることを理解し、古典から表現技法を習得することができる。 【思考力、判断力、表現力等】著者の表現の意図を理解し用筆や運筆、字形など工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の書の技法や文化について関心を持ち積極的に取り組むことができる。	風信帖/三筆・三跡の書 等の臨書、鑑賞		○		○	○	○	7	
	単元「漢字の書の制作と鑑賞」 【知識・技能】運筆や用筆から生まれる表現交換を理解し、多様な表現技法を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】学習した表現技法を生かし、用筆や運筆、造形など工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】表現の構想から完成までの過程を工夫し、主体的に自己表現ができる。	楷書・行書の制作/鑑賞		○		○	○	○	7	
	単元「仮名の書の学習」 【知識及び技能】仮名の成立や種類、執筆法などの基本的事項を理解し、仮名の基本的な用筆を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】仮名の基本的な線筆と用筆・運筆との関係を理解し、意図を考えながら工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】仮名や変体仮名などの成立について関心を持ち、日本の伝統的な書へ積極的に取り組むことができる。	仮名の成立と発展/仮名の種類/姿勢・執筆/用具・用材とその使い方/基本的な筆使い/平仮名/変体仮名/連綿/蓬莱切の鑑賞と臨書/散らしがき			○	○	○	○	7	
	単元「仮名の書の制作と鑑賞」 【知識及び技能】運筆や用筆から生まれる表現効果を理解し、多様な表現技法を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】古典の学習をとおし、仮名の技法や紙面構成などの表現技法を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】仮名の書の技法を生かし、積極的に自己を表現する姿勢を身につけることができる。	仮名の書の制作/全体の構成/鑑賞			○	○	○	○	7	

3 学 期	<p>単元「漢字仮名交じりの書の学習」</p> <p>【知識及び技能】 用具・用材や用筆運筆による表現効果を理解し、漢字とかなの調和を意識した表現技術を身につけることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 意図に合わせて漢字と仮名の調和を確認し、字形や、配置、書体など工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 漢字と仮名の調和を意識した全体の構成などを主体的に考え表現することができる。</p>	<p>言葉を表現する/作品の表現意図を考える/表現の工夫/用具・用材の工夫/全体の構成/鑑賞/漢字仮名交じりの文の成立とその書の変遷</p>	○			○	○	○	8
	<p>単元「書式の教室」</p> <p>【知識及び技能】 用途にあわせた用具や書式を理解し、配置よく書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や用途に合わせて用具や構成、漢字と仮名の調和などを工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 書式に合わせて表現を考え積極的に取り組むことができるか。</p>	<p>手紙の書き方</p>	○			○	○	○	8